

～ベートーヴェン弾きとしても名高いピアニスト ルドルフ・ブッフビンダーが来演！～
「水戸室内管弦楽団 第116回定期演奏会」開催のお知らせ

2025年の水戸芸術館コンサートホールATMでは、「現代ピアノの巨匠たち」と題し、世界的なピアニストたちによる豪華公演をラインナップしています。

その“オーケストラ編”として、水戸室内管弦楽団(MCO)は、春にマルタ・アルゲリッチを迎えて第115回定期演奏会を開催し、大成功を収めました。

今回の第116回定期演奏会では、クラシックの王道を確固たる足取りで進む“伝統の継承者”ルドルフ・ブッフビンダーを迎えて、古典派の名作と武満徹の作品を披露します。今回行う演奏会も多くの音楽ファンの注目を集める演奏会となることでしょう。

ぜひ貴媒体にて告知くださいますよう、お願い申し上げます。

水戸室内管弦楽団 第116回定期演奏会

2025年11月1日(土) 15:00 開演

11月2日(日) 15:00 開演

【会場】水戸芸術館 コンサートホールATM

【ピアノ】ルドルフ・ブッフビンダー

【料金】全席指定／S席 11,000円、A席 8,500円、B席 6,500円

【曲目】武満徹：ア・ウェイ・ア・ローン II

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58

【チケット取扱】水戸芸術館 (9:30～18:00 / 月曜休館)

好評発売中

【電話】チケット予約センター Tel.029-231-8000

【WEB】<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

【窓口】エントランスホール内チケットカウンター

残席僅少!

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

【ルドルフ・ブッフビンダー (ピアノ) プロフィール】



©Marco Borggreve

現代を代表する伝説的な演奏家のひとり。その演奏は、60年を超える輝かしい足跡に裏打ちされた、精神性と自発性が融合した稀有なものである。知的な解釈と自由な音楽は、世界中で称賛されており、とりわけベートーヴェン作品の解釈は模範としての評価を確立している。世界中でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏を60回以上行っており、何十年にもわたって作品の解釈の発展に貢献してきた。また、ザルツブルク音楽祭において、ひと夏でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲を演奏した初めてのピアニストでもある。2019/20年のシーズンには、ウィーン楽友協会が150年の歴史上初めて、ベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲を演奏する栄誉をブッフビンダーに与えた。レコーディングでも数々の名盤を残しており、2019年にはドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、ベートーヴェンのソナタ全集や協奏曲全集もリリースし、いずれも絶賛されている。ウィーン・フィル、ウィーン楽友協会、ウィーン響、イスラエル・フィル名誉団員。

【お問合せ】ご掲載について：水戸芸術館広報係(担当：君島、福島) Tel.029-227-8111

E-mail, kouhou@arttowermito.or.jp

企画について：水戸芸術館音楽部門(担当：根本) Tel.029-227-8118

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>